

314  
214  
314

來るべき

# 戦争の豫言

銃十郎閣下述

総理大臣陸軍大將

拾錢

特 242  
300

國家總動員は何故必要か？  
準戦時下の國民へ告ぐ！！

東京パンフレット社



\* 0055194000 \*

0055194-000

特 242-300

來るべき戦争の予言

林銃十郎・述

東京パンフレット社

昭和 12

AJA

300



内閣總理大臣  
陸軍大將 林 銑十郎述

来るべき戦争の豫言

東京パンフレット社 發行



## はしがき

東京パンフレット社々主  
日本パンフレット協会評議員 野崎信夫

林銑十閣下（日本パンフレット協会顧問）は、二・二六事件以来、公開席場の講演を拒絶されて居られたが、本會々長永井啓次郎氏（元陸大教官）及び理事長渡邊卓哉氏の熱誠を容れて、書房松本樓において「將來戦の趨向」といふ題下に、御講演下されたのであります。

本パンフレットは、その講演の速記であつて、閣下の御校閲を経て小冊子となし、小数の會員のみに配布（非賣品）致したものであります。就て見るに閣下御講演の内容は、頗る有益なるもので、これは全國民に告げなくてはならぬ事柄であると存じまして、今回渡邊理事長にはかり大部数を印刷して、世に送つた次第であります。

従つて本書の書名は「來るべき戦争の豫言」と致しました。この點林閣下に御諒解をお願い

する次第であります。本協会は會員未だ六百名の小數に過ぎませぬが、毎月名士各位を招聘して講演會を開催し、その速記を冊子として、會員に配布してゐるのであります。そこで將來とも大衆性のある名士の御講演は、これを千錢パンフレットとして、廣く世間に發表し、國民の智識啓蒙に資したいと存じます。

林總理大臣の述べられた本書の内容は、歐洲大戰に藉りて將來の戦争を豫言されたものですが、實は現下の國際情勢に對應すべき我が軍備問題に就いて、あらゆる角度から國民に解答を與へられたもので、來るべき戦争に處すべき國民への一大警鐘であると信じます。全國民の御熱讀を御望いたします。

## 目次

- 一、將來戰の豫言……………(三)
- 將來の戦争はどんな傾向を持つか？
- 二、平時と戦時の軍備問題……………(八)
- 戦争の期間が段々と長くなつて來た
- 三、歐洲大戰に於ける獨逸の錯誤……………(一〇)
- 獨逸參謀本部の違算……………用兵策戰の失敗
- 四、急造軍備の缺陷……………(一五)
- 青年獅子武者百萬人の戦死……………不十分な教育
- 五、將來戰の動向……………(一八)
- 將來の戦争は長引くか？……………舉國戰の思想

- 六、戦争と國家總動員 ..... (三〇)
- 軍事動員……工業動員……財政動員……その他
- 七、勝敗を決定する科學戰 ..... (三一)
- タンク・飛行機・毒ガス・バクテリア戰
- 八、恐怖すべき宣傳と陰謀 ..... (三二)
- 宣傳による人心の擾亂……通信・輸送・工場の妨害
- 九、經濟封鎖に對する國民の覺悟 ..... (三三)
- 軍の後方に對する空襲……潛航艇の活躍
- 十、將來戰に處する國民精神 ..... (三四)
- 國家總動員の思想……將來の戦争は超歐洲戰爭形

# 來るべき戦争の豫言

陸軍大將 林 銑十郎 述

## 一、將來戰の豫言

此のパンフレット協會に就いて通日渡邊君がお出になりまして何か此處で話をして貰ひたいと云ふ話がありました。「併し私は今は時事の問題に付てお話をすることは困る。色々軍部に關係する問題がありますが、又それを皆さんは恐らくお聞きになりたいと思ふ、けれどもそのお話は御免を蒙りたい。」「いや何でもいゝから……。」と云ふので「それぢや私は古いことを話しませう」。斯う云ふやうなお約束で實は罷出た譯であります。會員諸君の中にも色々各方面の方々がおありのやうでありますから幸ひ斯う云ふ方々に聞いて置いて頂きますと洵に結構だと考へますので大體斯う云ふことをお話ししようと思ひます。詰り將來の戦争がどんな風な傾向

を持つたらうか？蓋だ大膽な話であります。將來戦に對する我の準備とでも云ふやうなことをお話ししより、詰り古いことからだん／＼新しい所に歸納して行こうと云ふのであります。

丁度私は今永井先生のお話の通りに、明治二十七年に初めて士官候補生になり、二十七八年の日清戦争は士官候補生として隊に居つて、いさゝかながら知つてゐます。それから今の永井先生が三十一年私の舊友地金澤に來られた頃は少尉か中尉位で永井さんに色々教つて、やうやく大學に入つて、大學を卒業したのが三十六年、丁度日露戦争が今まさに爆發しようとする、其時に大學を因たのであります。それで日露戦争は第九師團大島久師團長の下に一戸將軍の副官をして私は旅順の戦場に行きました。それが三十七年、それから今お話のあつた歐洲大戰の直前に獨逸に行つて居りまして、獨逸に約一年間、さうしてゐる中にある歐洲大戰が初まりましたので、英吉利に行つて其後二年ばかり居つて戦争を見學して居つた譯で、其間佛蘭西にも伊太利にも、又露西亞にも行くと云ふ風で、殆ど戰場各地を旅行しまして日本へ歸つて來て其後三年間はかり陸軍省で戦争に關する一詰り歐洲大戰の研究委員と云ふやうなものをやつて居りまして其中に又歐羅巴に行く御用が出來て、佛蘭西に行き戦争の後所聞歐洲大戰後約十年

程經つた情勢を一通り見て來ると云つたやうな譯で歐羅巴戦争は多少研究したのであります。其間で日清戦争、日露戦争、歐洲戦争と云ふ此の三つの戦争をすつと概に考へて見ますと、一寸面白いことを發見する。詰り戦争毎に總てのものが羅過と云ひますか、一大進歩をする。日清戦争に於て一寸現はれて居つたことが日露戦争に於てはすつと擴大されて來る。日露戦争に於て一寸現はれたものが、今度は歐洲大戰に於てすつと擴大されて來る。斯う云ふ羅過を見ます。さうすると此の歐羅巴戦争を研究して此の研究から得た所の結論は、今度の次に來るべき所の將來戦の時又きつと擴大されて現はれるものを大體判斷することが出来るのであります。そこで私は即ち「將來戦の羅過」として日清、日露、歐洲此の三つの型を見て斯う云ふ形で行くならば、此の次の戦争は斯う云ふ形に於て來るであらうと大膽な發言をしようと思ふのであります。

總ての問題に亘つて詳細に申上げる時間を持ちませんから其中の極く主なることを四つ五つ擧げてお話をしてみたいと思ひます。

## 二、平時と戦時の軍備問題

八

歐洲戦争に於て多くの人々が氣の付いて居ることは非常に戦争が永がびく。日清戦争の時に旅順は一晩で落ちてゐます。日露の時は其の旅順の攻撃に四ヶ月もかゝつてゐる。歐洲戦争の時は、ベルダンの要塞攻撃に三年もかかつて居る、と云ふ風に總ての、戦争でも、何でもだん／＼永くなつて居る。現に歐洲戦争は五年間乃至六年間も續いてゐる。昔の韓越や一の谷では一夜で戦争の勝負がついてゐる。關ヶ原でもさうです、ぐつとぶつかつて一度で済んでゐる。昔は戦争の期間が短かつたものがだん／＼長くなつて來て居ります。歐洲戦争では一つの所にこびりついて二年にも三年にも亘つて居る。日露戦争の時に沙河の對陣と云ふのは五ヶ月もかゝつた。斯う云ふことは多くなりことで日清戦争にはない。今迄の傾向を研究して見ると云ふとだん／＼一つぶつかつてから非常に永くなつてゐる。全體の戦争の永さは非常に延びる。三年、四年に亘つて居る、それでは將來の戦争はどうであらうか？ 果して此の歐洲戦争のやうにすつと一つ所に長くこびりついて、而も長く數年に亘るかどうか、是は雖でも一寸色々問題

のある所であつて、意見の違ふ所と考へます。

併し、歐洲大戰に於て此の戦期が非常に永引いたと云ふことが色々な現象を呈してゐる。よく世の中で斯ういふことを言ひます。

「英吉利や亞米利加は戦争前には大して準備もしてゐなかつた、兵隊も僅かしか持つて居なかつた、唯工場などが澤山あつた。所が戦争になつて見ると云ふとポツ／＼兵隊も作る彈丸も作る工場も作る等してそれから出征をして結局勝つて居るぢやないか。だからそんなに慌てゝ平素から大した準備などして置かなくつても良いぢやないか、平素工場を持つて居り兵員を持つて居つて、貿易戦で良い景氣になつて居れば……」

是はよく政治家の諸君から聞く處であります、それは確かです。此の歐洲戦争に於て英吉利は開戦當時は六師團しか兵力はなかつた。それが結局だん／＼擴大をしまして歐洲の戦場に送り出した師團の數でも百何十師團、動員した所の總兵力六百七十萬と云ふやうなものを動員してゐる。遂次に擴大してゐるのです。亞米利加の如きも戦争が始まつた時分には二十萬位しか居なかつた、それが遂次に擴大をしてとう／＼三百五十萬位の軍隊を作つてゐます。さうして

戰場に送つた兵數だけでも二百二十萬、詰り亞米利加の如きは殆ど無から有を生じてゐる。戦争の始まつた時には何もなかつたのが、忽ちの中に二百二十萬の軍隊を歐羅巴の戰場に送つてゐます。英吉利にした所が最後には六百何十萬と云ふものを動員してゐる。さうすると日本だつて何もそんなに慌てて平素から軍備などやつて置かなくても、英吉利や亞米利加がやつてゐたやうに鐵道や、工場を澤山持つてゐて、後は金を持つて居さへすれば、いざと云ふ時に作ればいゝぢやないか、平素から軍費々々と云つて何億と云ふ大金を消費しなくてもいゝぢやないかといふやうな議論もありません。

一寸考へると如何もたと言ひたい議論であります。併しながら此事が可能であつたには重大な原因がある、即ち今申上げた戦争の期間が非常に永かつたと云ふことがそれである。ぶつたのてから非常に永い、二年も三年も五年、七年も経つから其間には幾々に兵力を作りまして戰場に送るといふやうな餘裕がある。現に私が亞米利加を通つたのは戦争が始まつてから三年目です、併しその時分には未だ亞米利加に充分の軍備が出来て居るない。結局是から訓練をやるとか或は工場の大増大とかいふやうなことで、今からそろ／＼やるといふやうな有様であ

りました。結局戦争が長かつた爲に間に合つた。だから將來の戦争も亦そんな風にやつと長くかゝると云ふからは今お話しした通り日本もそんなに泡食つて喧ましく軍備々々と言はないで、今日はもうと民間又は官有の工場を作つて、後は青年訓練なんかで兵隊を訓練して置いて後は金を持つて居つて意々戦争が始まつたならば其の金で全國の工場を動員して、さうして大規模の製造をするとか、兵隊を澤山養ふやうにすれば業に間に合ふぢやないか、是は普通随分よく聞かされたものであります。が是は實に幼稚なる議論であります。

### 三、 歐洲大戰に於ける獨逸の錯誤

然るに何故歐洲戦争がそんなに長びいたかとよと、茲に一つ研究しなければならぬ原因がある。此の原因を研究して置かなければ此の問題は簡單にさうだとは言はれない。戦争が勃發した當時、私は恰度獨逸に居りましたから、其の時分の獨逸の有様がよく解つてゐる。獨逸は平素から佛蘭西に對する計畫を持つて居つて、約三週間に於て佛蘭西の首都を取つてしまふ、巴黎を取つてしまふといふ計畫をして居つた。參謀本部ではいざとなつたならば斯ういふ風に動



員をして、斯ういふ風に國境に兵を集め、鐵道はこんな風に使用する、國境を斯う進んで行くさうすると結局三週間目には巴里に行き着くと云ふ計算を獨逸の參謀本部でやつて居つた。それに應ずる準備と、それに應ずる兵員を整へて居つたのであります。

初めの中、戦争の景況と云ふものは其の當時のことを御研究になれば分りますが、獨逸の參謀本部の机の上で計畫した通りになつてゐる。大體に於て所謂國境に添つて兵を集めて小さきみに一日何軒と進軍してゐる。八月に始まつて九月の初めには殆ど巴里の近くまで行つてゐる三週間は途中で少しベルギーで引つかうつてしまつた。獨逸はベルギーなんぞ初めは眼中に入れて置かない。ベルギーは永久中立國であるが、それを踏み破つて行こうと云ふので途中の滯留を計算に入れて置かなかつたのであります。ベルギーは抵抗はすまいと考へて行つたのであります。獨逸は條約上の規定を踏み破つて行くつもりであつたのです。何故かと云ふと、ベルギー方面には要塞がほとんどない。獨逸はそこを見込んで中立を破つて行けば要塞のない所へ行けるのだから……とコンパスで測つて居る。

所が此ベルギーがなか／＼簡單に行かなかつた。ベルギーには小さな師團しかなかつたので

獨逸が眼中に置かなかつたのです。併しそのベルギーの要塞にひつかうつてしまつたのです。ベルギーでは一國の存亡に關することでありますから悉くのベルギーの要塞は死物狂ひになつて防いだ、それが爲に獨逸の進軍が遅れた。さうしてこゝで一ヶ月もかゝつて意は巴里に迫つた。ぐつ／＼と攻めて一舉に巴里を取つてしまへば戦争は終る譯です。獨逸人も殆どそれで形がつくものと考へて居つた。所が一ヶ月後になつて見ると一舉にして巴里を屠る形勢が取れなくなつた。何故かと云ふと後の方の露西亞の方が危くなつた。獨逸は露西亞の方には僅かな兵力しかつけて置かなかつた。佛蘭西方面に力を八分通り注いだ。其手薄な所が危くなつたので其當時の獨逸皇帝は東の方から出てゐるのでありますから王室發祥の地を取られる惧がある。所謂東プロシヤの方が取られるやうな形勢になつた。是が取られたんぢや困る。そこで巴里の城下まで迫つて來てゐる兵力を―所謂九俣の功を一畫に缺くと云ふ奴です、十其の兵力を削つて後の露西亞方面に送つた。是がそも／＼獨逸が敗戦になつた大きな原因の一つです。巴里が目の前に見えてゐるのに東プロシヤが危いと云ふので後の方に兵力を送つた。又佛蘭西の方でも巴里が取られると云ふので非常に驚いた。危急存亡の場合だと云ふので……恰度私共其の時分

英吉利のロンドンに居つたのですが、巴里からどん／＼財産を運び出してゐる。巴里のすつと南方がルドーと云ふ所へ、巴里に居る富豪が貴重品を運んでゐる。停車場は人で一ぱいになつて逃げ出さうとしてゐる。即ち獨軍は巴里の前面、大手を振れば届くあたりまで追つて来た。

茲で巴里が取られて居れば歐洲戦争は一ヶ月餘りで大體の形がついてゐる譯です。そこで佛蘭西の方でも是は堪まらぬと云ふので、長い戦線の中央の方から、一夜の中に何百臺一數字は射殺りしませぬが、兎に角多數の自動車を使つて左の方へ兵力を廻してしまつた。獨軍の方は陣營が薄く陣中に兵を集めて居つたので、其の薄い方へ一瞬の中にうんと兵を集めてしまつた。是が九月六日頃であります。中央の兵を左の方へ廻して是でぐつと獨軍の右翼を突いた。それで陣所をぐつと叩かれたので、たじ／＼と下つた。是が歐洲大戦に於ける獨軍の最初の失敗であります。是で二つの原因が出来た譯です。後が危いからとて兵を削つたのが一つ、中央を突くやうにして陣營を弱くした、その所をつかちて後退したのが一つ。たじ／＼と下つて後の河の所まで来て、共産でどつかと落着いた譯です。

#### 四、急造軍備の伏陥

檢閲私が獨逸を去る時は戦争が始まつてからであります。其の時分獨逸青年で従軍を志願した者が凡そ三百萬人。其頃の獨逸は青年訓練、學校教練などを盛にやつて居つた。さうやつて祖國觀念を養つて居つたのでありますから、愈々戦争が始つて來ると、十五六歳位の青年が悉く従軍志願をした。其數がさつと二百萬。そんなに澤山引受ける譯には行かんで、其の半分大凡百萬位の者を集めて、戦争が始まつてから教育をした。八月に始まつて十一月に新しい兵隊を戰場に送つた。前の失敗を取り返すぞと云ふ意氣込みで戦線に加へたのであります。もう一押しちやと云ふので押したのが所謂一九一四年十一月の戦國であります。

所が残念なるかな、此の青年達は元氣は横溢であるが、何分にも教育が不十分である。戦争が始つてから四ヶ月の教育で、所謂獅子武者であり、花武者である。イーブルの戦争で此の百萬の花武者が大部分やられてしまつた。祖國の爲に死なうと云ふならぬと云ふので、死んで来たものですから、もう死闘狂ひ、吾々の手で巴里を取らうと云ふので、死んで来たもの。

が、奈何せん、教育が十分に出来てゐない爲に、殆どイイブルの戦場に於て訓練の精銳と云ふものば、つきてしまつた。それだからもう前に動けない。元氣のいゝやつが皆潰されてしまつたのでイイブルの線に兎に角立て籠つた譯です。佛蘭西もぐつと出て行つた。けれども線を築いてしつかりやつてゐるものだからいけない。そこで右の方へ廻る右へ廻られちや困るから獨逸も同じく右へ廻る。正面が固いから右へ延び、左へ延びして、とうとう國境一帯に亘つて兵を張つてしまつた。其長さが約百八十里あります。此の百八十里の線を互に固めてしまつたものですから動けない。兩方共助けなくなつてしまつた。戦争と云ふものは斯んなものぢやない。兎に角斯うやつて海邊から瑞西の國境までに亘つて、百八十里の線を堅固を築いて對陣してしまつた。是が十一月十二日の頃です。それからもう對面戦になつてしまつた。斯うなつて見ると普通の大砲ぢやいかんと云ふので、うんと大きな大砲を携らへて後方へ射つ。兩方共國境を固めて壁を作つてしまつたので、是が戦争が長びいた原因の一つです。

又其の對面戦になつてからの彈丸の使ひ方が非常に大きい。其の時分佛蘭西は戦争が始つた時分は一日砲彈を三萬發作る力を有つてゐる。一日三萬發と云ふと一月百萬發、半年で六百萬

發の準備が出来る。所が其の時分の砲彈の使ひ方が大きかつたと云ふことは、實に驚くべきであつて、一九一五年九月シャンペーニエの戦場で、佛蘭西の方から攻勢に出たのですが一つの戦役で英佛軍の使つた砲彈は七百八十萬に上つて居る。一つの戦争のみでも、七ヶ月準備をしなくても間に合はないと云ふことになる。是は日本の日露戦争などでは丸で問題にならない。別に濫發をする譯ではないでせうが、兎に角一方で射てば一方でも射たざるを得ないと云ふやうな關係で、一つの大きな戦闘をしようとするには今のやうに八百萬發の用意が要る。平素の能力で六ヶ月で六百萬發。是が歐洲戦争が非常に幕合の長がゝつた原因です。

半年かゝつて作つた砲も一戦闘で使ひ切つてしまふ。砲がなくなつては戦争を止めなくちやならぬと云ふので、突き破ることが出来ない。日露戦争の時には防禦線は大體一線しかなかつたから、それを破れば譯ないが、歐羅巴戦争になると數線の連疊を有つてゐる。第一線を敵が攻めて、うんと弾を使つて、第一線を破り、兵が入つて來て敵兵が困意し弾がなくなつた頃、第二線に於てそれを引受ける。斯う云ふことは日露、日露戦役には見られなかつたことであり、何時も戦争は第一線で決つてゐたものが、第一線のみぢやいかん、何百萬發と云ふ砲彈

を打ちこまれたのぢや、どんな堅壘も毀れてしまふ。是は第一線は敵にやつて、第二線、第三線で喰ひ止めようと云ふ思想になつて來た。是が敵の砲彈を第一線で使ひ切らして置いて、砲彈の届かない所で、困憊した敵兵を攻めると云ふのが、歐洲大戰に現はれた一つの戰術であります。それで彈がすぐ足りなくなる。それが爲に次の會戰までに又七ヶ月位かゝる。是が長引いた原因の大きな一つです。

## 五、將來戰の動向

斯くの如く色々な原因がありまして戰爭が斯う長引いて來るのでありますから、將來の戰爭が果して長引くかどうかと云ふことは餘程考へるものです。どつちかと云ふと長びかなくなるんぢやないかと思ひます。

獨逸なんぞは、そんな關係で戰爭が長引いてゐる間に今度は國民の方がだん／＼飽きて來た。練氣が出て來た。國民の中には四回も戰場に行くものさへ出て來た。怪我をして歸つて來て、治つて又出て行く、行つて又負傷をして歸つて來る、又行く又歸ると云ふ始末で四回も戰場に

出る者さへ澤山現はれて來た。國民も疲れて來、兵隊も亦疲れて來た。何の爲に戰爭をしてゐるのかと云ふ氣持になつて來た。そこへ英佛軍の方の宣傳が入つて來て獨逸の人心に向つて働きかけ始めた。

「何の爲に貴公等戰をしてゐるか、一部官僚の功名心の爲に戰をしてゐるのだ」所謂非戰思想を國民の間に吹き込んだ。是が獨逸の敗因をなしてゐる。戰爭が長引いてゐる間に國民に聯合軍の方から働きかける。其上國民生活に色々な弊害が出て來ますから戰爭はなるべく長引かしたくないであります。

そこで將來の戰爭は果してどうなるかと云ふと、私は各國は此の經驗に基きなるだけ長引かないやうにしようと思ひます、歐洲大戰のやうなことになるつちや困る、斯う思ひますからなるべく戰爭を早く片付けたいと考へて居ると思ひます。そこで戰爭をなるべく早く片付けるにはどうしたらよいか。獨逸は最初の攻勢の時に、獨逸は是で差支へないと思つたであらうが、露西亞の方に兵を削つたのが悪かつたのであります。そこで兵を削かずに巴里を取つてしまへばよかつたのです。そこでこれからの戰爭に於てはなるべく早く、なるべくうまく

敵軍に致命傷を與へることを考へねばならん、斯う云ふことが殆ど各國の兵學者が考へてゐることだらうと思ひます。確かになるべく早くやらう、なるべく戦争を長引かぬやうにしようと思ふことを考へるやうになつて來てゐる。之には出来る限り平時に於て準備し全力をつくして一舉に形をつけようと思ひます。それが詰り此の頃よく人の言ひます國家總動員と云ふ思想に研究を集中して來て居ると思ひます、換言すれば舉國戦の思想です。國を擧げての戦と云ふことを考へるやうになつて來た。全國の力を擧げてどこまでも早くやる。獅子は兎を捕るに全力を以てする如くに、國家の全力を擧げて叩きつけて疾風迅雷的に一舉に決してしまふと云ふ風に考へてゐるやうであります。

御承知の通り最近ソヴェート聯邦が西比利亞の國境線一帶に非常に兵力を増してゐるといふことは、よく新聞に出てゐますが、是は必らずしも我國を攻めようと思つて大兵を集めてゐるのぢやない。既に國境線滿洲對岸に三十萬以上の兵を集めてゐるが、是は何の爲めかと云ふと所謂今こゝで申した所の事ある場合にはなるべく早く、一舉に事を決しよう、愚圖々々して居つてはいけない。それには滿洲國に居る所の兵力に數倍するやうな兵力を有つてゐなくちやな

らぬ。唯一口に三十萬と申しますが日露戦争當時奉天戰に於ける双方各々先づ三十萬位なものです。それ位の兵力を常時國境附近に集めてゐる。その上飛行機も七八百臺、戦車も七八百臺もある。何の爲かと申しますと、前申す通り戦争が始まつたら、一舉にぐつとそれを押し出して速戦速決、なるべく早くかたづけてしまをう、斯う云ふ思想から之をやつてゐると思はれます。

## 六、戦争と國家總動員

此の舉國戦の思想と云ふものが、所謂歐洲大戰の結果として生まれた一つの思想であります。その舉國戦の思想で以て總てのことを各國が考へてゐる、と斯う云ふ譯であります。そこで舉國戦、國を擧げての戦争と申しますと色々の問題がありますが、先づ此の國を擧げての戦争が出来るやうに、それだけの兵力を出さうと考へる、是は兵力の上からの舉國戦である。よく昔はチビリ／＼と出して居つた。先づ最初は現役から、次に豫備役、それから後備役とチビリ／＼出して居つた。さう云ふやり方をして居つたのであります。所が日露戦争の時には普通の後備役まで出したが未だ足らぬ、それから第二次後備と云ふものを召集した、所がそれでも未だ足

りぬ、故に現復の他に志願兵も探つて、所謂臨時に教育をした、と云ふ風に三段にも四段にもやつて兵力を補充してゆきますが、それぢやいかん。獨逸あたりは歐洲戦争の時には現役、豫備後備、志願兵と全力を擧げてやつた。そこで今後、いざと云ふ時、大兵を一擧に出すと云ふことを考へなくちやならんと云ふ事になりました。

こゝに大戦當時の数を計算したものがありますから、正確ではあきませんが大體申上げますと云ふと、獨逸の人口が總體に於て六千八百萬、其中壯丁と云つて兵役に服し得るもの千三百萬、それを戦争に於て召集した数が千二百萬。十何歳から四十何歳と云ふ兵役に服し居る者の数が千三百萬の中、千二百萬まで召集してゐる。結局壯丁数の九十%を召集してゐる。次に佛蘭西、人口大體四千萬、壯丁数が八百八十萬、其中召集數七百三十萬、結局壯丁總數の八十三%召集してゐる。それから英吉利は人口が四千五百萬、壯丁數九百五十萬、其中の召集數七百萬、七十四%、試みに日露戦争の時の數字はどうかと考へて見ると、其當時の日本の人口が四千七百萬、壯丁數九百四十萬、召集した数が僅かに百萬、丁度十%。日本では十%しか召集してゐないのに獨逸は九十%、此の問題だけを考へて見ても如何に大兵を動かしたかといふことが分る。所謂準備戦の形です。足腰の立つものは殆ど戰場に出してゐます。

そこで今まで動員と云ふ言葉は單に現役であるとか、豫備役を引っぱり出すのが動員であつて、それに伴ふ所の馬であるとか、兵器であるとかいふものを動員する。それを軍事動員と云つて、それさへあれば戦が出来ると考へて居りましたが、斯うなつて見ると、なか／＼軍事動員だけぢやいけない。先程もお話しました通り、戦争の初期に於て砲彈が充分作れないとすれば、半年も立てば最早一戦も出来ない。それには常に彈丸の續々製造出来る様にと云ふことを考へなくちやならぬ。其の上其の彈を作るべき壯丁が皆戦争に出てゐる、豫備も後備も現役も悉くが戦争に行つてしまつてゐるので、製造工場があつても製造する人間が居らない。足腰の立たない、爺さんや婆さんしか居ない。そこで、是ぢやいかんといふので、戰場に出してゐる所の兵隊を呼び返へして工場へ廻して、若い者や、今まで経験もない者がやる。能率も落ちる。こんなぢやいかん、それには平素から斯う云ふ風な準備をして置かなくちやいかんと云ふので、そこに所謂、工業動員と云ふ言葉が出来る。普通の軍事動員の外に工業動員と云ふものが考へられる。それから是等兵器其他の軍需品を作る金、即ち財力の問題も考へねばなりません。

日露戦争の時、一體幾何程金が要つたかといふことを考へて見ますと、其の時分、一日百萬圓位と最初の中考へて居つた。所がだん／＼戦が進むにつれて先づ一日二百萬圓と算定された其の時分戦争になると一日二百萬圓が煙になると言つて驚いたものです。所が歐羅巴戦争になつて來るといふと、最初の中英吉利軍に於て一日の戦費、約三千萬圓と云ふことを聞いて居りました。日露戦争の時に二百萬圓、それが三千萬圓ですから開いた口が閉さがらぬ始末です。大戦争の最後までを見ますと云ふと、英吉利の一日の戦費が一番高い時で七千二百萬圓、獨逸が四千七百萬圓、大體是だけを考へて見ても、如何に彼等が金を使つたかと云ふことが分る。一日に七千萬圓づゝの金が飛んで行くと云ふ有様です。そこで普通の考へ方ちやいかんと云ふので、此の金融も之に應ずるやうにして行かなくちやいかん、大砲も作り彈も、飛行機も作るといふので、普通平常時のやり方ちやいかんと云ふので此の方面の動員も考へられねばならなくなつた、即ち金融動員、財政動員である。歐洲戦争と云ふものは歐羅巴諸國は平常から算定をはじいて計算をしてゐたのでありましたが餘りにも桁外れの大戦だつたので、今申したやうな、工業動員と云つたやうな新しい言葉が出來、金融動員と云ふ言葉が出來、財政動員と云ふ

言葉が出來た。

## 七、勝敗を決定する科學戰

それから次に注意すべき現象として學術の廣汎な利用であります、タンクが出る飛行機が出る毒ガスが出るといふ風で、獨逸と云ふ一つの學術國を相手にしてゐる爲に、學術の應用といふものが非常に盛になつて來た、そこで今度はどうしても學問の方の動員をしなくちやならぬと云ふ問題が起きて來た。今までやつて置いていゝと思つた奴が、戦争をやつてゐる中に進歩して行つて、どん／＼新しいものが出て來る。

恰度私は戦争第二年目の六月頃に英吉利のケンブリッジ大學を見學に行つたことがある。國民全部が戦争熱に浮かされてゐる時、一體大學ちや何をやつてゐるだらうかといふ考から、大學の見學を申込んだのであります。そうすると、それが恰度戦争第二年目、獨逸が初めて毒ガスを使つた一九一五年五月の下旬頃であります。戦場で之を使つた時には英吉利初め聯合軍側は非常に驚いた。英吉利軍の前へ最初煙がかゝつて來たので、何だらうと思つてゐる中に呼吸

困難になつたり、くしやみやつたり、泣いたり、笑つたり、是は大變だと云つて騒いで見た  
が手遅れだ、之には聯合軍も非常に困つた。恰度其の毒ガスを使つてゐる時分です、さうする  
と若い將校が理化學の研究室で何かコック／＼やつてゐる。何をやつてゐるのかと思つて聞いて  
見た所が、此の若い將校はケンブリッジ大學理化學部長の息子さんで、部長は今數日前戰場に  
於て敵が毒ガスを使つたので、何だか分らないが變なものにやられて困るからと云ふので大學  
理化學の先生に戰場に出張して貰ひたいと云ふので部長が戰場に飛んで行つて居り、息子さん  
も父に負けずに、どうして敵の毒ガスを防いだらよいかと云ふ問題を研究してゐると云ふこと  
でありました。學者が戰場に出て行かなければならぬと云ふことにたつたのです。斯うなつた  
のも獨逸が平素から研究をして居つた學問の力です。日露戦争の時にはガスを使ふことはなか  
つた、けれども歐羅巴戦争に於て初めてガスを使ふ思想が出て來た。是は將來戦に於てきつと  
非常に擴大されると思ひます。

無論條約でガスの使用は禁ぜられてありますが、條約などで止めてあつても死活問題にな  
つては是が使用し又己むを得ないと云ふことになるから、無論各國でも是が研究をやつて居る。



斯くの如く學術的研究がだん／＼進んでゐるので、將來戰に於ては此の毒ガスを使はないと云ふことは言へない。使はれた時に其の防ぎ方が分らないといけないから研究をしてゐなければならぬ。而しお互に秘密に研究をして居るのであるから、こんなもので來たら是で防せう位の研究しか出來ない。それですから平素から對策十分に準備をして置くと云ふことは随分困難な事です。斯う云ふことはほんの一端であります。或は微菌戰と云ふ事もぼつ／＼考へられて來て居ります。兎に角其の爲に學術動員と云ふ言葉が出來た。動員の範圍が學術界にまで及んでしまつた。學術界の先生方が集つて研究をしなければならぬと云ふやうなことが起つて居ります。是も亦將來戰に於ては必ず大規模に擴大され諸般の學術的新現象が現はれるだらうと思ひます。

## 八、恐怖すべき宣傳と陰謀

次に此歐羅巴戰爭で最も吾々が注意をしなければならぬ問題として現はれてゐるのが宣傳です。宣傳と云ふことは日露戰爭の時には殆んどない。是は歐羅巴の戰爭で非常に大規模に行は

れてゐます。英吉利の如きは宣傳書を設けて宣傳大臣を置いてゐる。ロンドン・タイムスの社長であるノース・クリフ卿自ら宣傳大臣となつてゐる。さうして宣傳によつて敵國の民心を攪亂しようとしたのであります。是も先刻お話しした學國戰と云ふ思想から出てゐる。戦場の兵隊を驚すばかりが戦争ぢやない。國內の人心を攪亂させて背面から戦を止めさせようと云ふのでそれが爲には宣傳がいよと云ふ所から宣傳大臣が設けられて國內の動搖を圖つた。世界に向つては、獨逸が悪いことをしてゐる。莫太利が悪いことをやつて居ると云ふ風に敵に對して悪い輿論を喚起するやうなことを言ふ。自分の方の悪いことは一つも言はない。其當時私共英吉利に居りましたが、獨逸は本當に悪虐非道なことをやつてゐる。戰場に於て戦死した英吉利兵の腹をくり抜いて棒を通して擔いでゐる、とか、大きな穴の側に多數の外國人を集めて置いて、之を突き落して殺してゐるなど云ふことが非常に多く新聞に書いてある。それは所謂宣傳です。

獨逸の方ぢやそんなことはないと言つてゐるが、其の獨逸の新聞は固より、通信も一つも入つて來ないから皆本當だと思つてゐる。それから國內には先程申した所の、或は飛行機の上か

らビラを推すとか、悪いこと―軍に不利益なことを書いた新聞を入れて、ペンフレットを  
緒に撒く、国内の民心に盛に敵愾心を起させるやうなことをする。又国内に於ても民心の動搖  
を惹起する様な事が行はれ出した、現に私共英吉利に居つた時に、英吉利の軍需大臣は盛に英  
吉利の兵器が不足してゐる。是ばかりぢや足りぬと云ふことを言つて、俄かに軍需會と云ふも  
のを作つて、其の頃の軍需大臣がどん／＼工場を擴張をして作らした。新聞を見てゐると、「何  
々管理工場」と云ふものが出てゐるが、初め百あつたものが二百となり、五百となり千となつ  
てゐる。所謂政府が管理をして兵器を盛に作らしてゐる。さうするとしまひには斯う言ふもの  
が出て來た。

「どうも今の軍需大臣は自分の親戚に兵器製造業者があつて、その兵器業者と結託して兵器を  
どん／＼作らして儲けてゐるのぢやないか、何も英吉利の兵器は不足したことはないぢやな  
いか」

それを議會で軍需大臣の財産調べをして貰ひたいと言ふやうなことになつた事がある。宣傳の  
力でこんなことになつたのであります。又其頃流言非語が盛んに飛び出しました白く、

邊は平素から英國王宮の近傍に地面を買つて置いて、其下に地下室を設けて置き、そこに重砲が据えつけられてあつたのだ、是は愈よ戦争が始まると其上覆を開いて大砲を射つ爲だつた、など云ふデマが飛ぶ。爲に戦争の始つた當時は民心が恟々たるものであつた。獨逸の間諜が何千人入つて來てゐるか分らない。そうして今のやうな準備がちゃんと出來てゐるといふやうなことを言ひよらす。國民は非常に驚く、そこで何でも獨逸人の店は全部毀はしてしまへと云ふ事が言ひ出されて流石、沈靜な英人も餘程冷靜を失つて東京で言へば銀座とでも言つたやうな賑ぎやかな所に獨逸商人が來て立派に商賣をやつてゐる。そうするとその獨逸人の店は悉く毀せと云ふやうなモツブが起つて來た。それで商人達は皆逃げ出すといふことが起つて來た。斯う云ふ風に獨逸でも同様に宣傳をやる。互に宣傳戦をやつてゐる、何が何だか一寸も分らなくなつてしまつた。戦争の報告にした所が、どつちが本當なのか分らない。斯ういふ風になつて來ると云ふとは將來に於て非常に怖いと思ひます。最近の滿洲事變の起つてから後も各種の宣傳と云ふものが行はれる。各種の流言が出る、怪文書が飛び出す。歐洲大戰の時には兵隊は上官を襲ふ、國內では大臣を襲ふ、將軍を襲ふ。又疑はざるを得ないやうな色々なものを

配布する。是が國民の思想を搖がす一つの手段です。戦争の報告も勝つたと云ふのは嘘だ、皆嘘ばかりだと云ふやうなことを言ふ。是は今度の滿洲事變にも澤山あります。實際に於て何もないことを事更に危なげに言ふ。是が今の宣傳省あたりの差金で皆やることです。

もう一つ注意すべきことは――宣傳同様注意を要することは陰謀です。陰謀が各國に於て相當に行はれてゐる。其陰謀と云ふのは通信の妨害であるとか、輸送の妨害、工場の妨害、又はストライキ等色々な運動です。工場の中に人を入れて、今政府が戦をしてゐるが、あれは人民の爲でなくて自分の爲にやつてゐるのだ。そんな奴等の使用する砲彈なんか作らん方がいゝぢやないかと云ふやうなことを言つてストライキを起させる。是は勿論宣傳です。亞米利加ではよく行はれたと云ふのは御承知の通り亞米利加は各國人の寄合世帯です。獨逸系の亞米利加人と云ふものが一千萬人も居る。是が工場のストライキをやつたり、火薬庫の爆破をやつたりする。それから又御承知の通り亞米利加の方から來た所のルシクニヤ號と云ふやうな大巨船を大西洋の真中で撃沈してゐる。あれは何時あの船がやつて來るか云ふことをちやんと知つてゐる。亞米利加から兵器彈藥を積んだ船が、歐羅巴に向つて來るから、それを途中でやつつけると云

ふ譯です。宣傳と之に伴ふ陰謀が軍事行動阻害の方法です。是が又將來相當に行はれると思ひます。

三三

## 九、經濟封鎖に對する國民の覺悟

次に注意すべきは軍の後方に對する空襲の事であります。之は國民の士氣に大關係を有する重大な問題であります。此の點に就て申上ぐる事は略します。

それからもう一つ大切の問題は經濟封鎖の問題。是は御承知の通り、獨逸、埃太利と云ふ國は他の諸國からものを取れないと云ふと相當に困る。獨逸は石炭もあれば鐵もあるが食料品が足りない。露西亞と云ふやうな大農業國を敵に廻してゐますから食料は非常に困つた。又英吉利は殆ど工業國である。工業であるから工業は實に盛であるが農業は振はない、英吉利は食料品は大部分海外に仰いでゐる。海外に非常に大きな殖民地を持つてゐるから一寸も心配はいらない。若し英吉利の周圍を絶つて英國に一つも外國からものが入らぬことになると、英吉利は一ヶ月位で食へなくなる。私共は斯ういふことを聞いてゐる。若し英吉利を完全に封鎖してしま

へば、國民の食料がなくなる。平素工業國で、工業を非常に發達させて居るが、日本のやうな耕地はない。ですから食料品は總て海外から、或は印度、エジプトと云ふ所から持つて來てゐるのだから、一度之を封鎖してしまへば直に食料で參つてしまふ。そこで獨逸は所謂潛航艇戰と云ふものを作り出した。潛航艇と云ふものを使って英吉利へ持つて來る食料を持つて來られないやうにしてしまつた。獨逸が經濟封鎖されてゐるのかと思つたら、獨逸が寧ろ英吉利の封鎖をやつてゐる。亞米利加、加奈陀、日本、エジプト、印度等から、大西洋、印度洋、地中海を通つて英吉利へ行く船を途中で潛航艇でやつつけてしまふのです。所謂潛航艇戰と云ふのは英吉利に對する經濟封鎖です。

是は獨逸としてはやらざるを得なかつたのでせうが、此の潛航艇を使ったと云ふことが結局亞米利加を敵に廻したことになるのです。それまで、亞米利加はどつちにもつかず戰爭外に立つて居つて軍需品をどん／＼兩方へ賣つて儲けて居つた。それが潛航艇を使って英吉利を苦しめたのはよかつたが、其結果として亞米利加を敵に廻したのですから、結局から言つて潛航艇を使ったことは失敗である。併しそれが爲に英吉利人はとつても困つた、まご／＼してゐる

三三

と餓死してしまふ。併し其報復手段として英吉利でも獨逸封鎖をした。其の程度は英吉利は酒はどれだけしか飲んぢやいけないと云ふやうな程度ですが獨逸ではそんな風ぢやない、切符でパンを賣つてゐる。一日何枚かの切符を與へて置いて、一日それだけしか買へない。結局國民生活に影響を與へてゐる。身内が殺されて来る。自分の夫が殺される、愛見が二人も三人も殺される、其上生活は不安になる。一體何の爲に戦をしてゐるのか分らぬと云ふ氣持を持ちだした。國民全體の戦はんとする氣分がすつと下つて來た。それが所謂宣傳の力です。

我國の國民は非常に元氣がいゝし、祖國愛に燃えてゐますから、少々位のことぢや、へこたれはしないでせうが、歐羅巴のやうな状態になつて、果して國民がしつかり持ち堪へられるかどうか、疑問であります。日本がもつと具合の悪いのは殆ど四方海であつて日本の國內だけで軍需品が足りるか云ふと、相當に不足をしてゐる。軍需品だけでも心配です。是が容易に南洋から取れるとか、亞米利加から取られると云ふ場合であればよいが現在はそのさへ覺つかない。一度經濟封鎖をされると、第一食料が缺乏してゐる。金は有つても使えない、ものを買つても途中が危ぶなくて持つて來れない。國民と云ふものは經濟封鎖に對して餘程考へて置かんと云

ふと、如何に元氣があつてもなか／＼むづかしい。氣持が餘程しつかりしてゐないと云ふと、此弱點に向つて外國の宣傳が入つて來る宣傳が入つて來ても大丈夫持ち堪えられるやうに精神を作つておかなければならぬ。こゝで所謂精神動員と云ふ言葉が起つて來る精神上の動員をしなくちやいかん。

## 十、將來戦に處する國民精神

戰爭動員と云ふものが、普通兵隊を集めて兵器を動員すればいゝと思つて居た所が、工業動員、それから次に鐵道、運輸と云ふことも考へなければならぬ。平素通り、否それ以上に敏活にやらなければならぬ。こゝで又交通動員と云ふ言葉が生まれに來る。金融に對する金融動員、學術動員、思想動員にまで行つてゐる。是等を戰爭に對する國家總動員と言つて居る。歐羅巴戰爭はさういふ風に各種の研究材料を與へてくれた。國家總動員は歐洲大戰以後の思想であります。

日本人は歐洲大戰の時にはうまいことばかりやつて居つて苦しみに會つてゐない。獨逸の中

うな苦しみも知らなければ、英吉利のやうな苦しみにも會つてゐない。亞米利加のやうな苦しみにも會つてゐない。故に此痛味が分らない。今度の滿洲事變以後のことで多少先程申した思想動員と云ふことが必要だと云ふことは分つて來たやうであります。

私は此の歐羅巴戦争から歸つて來て、言ふことは宣傳に乗せられちやならぬ。宣傳と云ふものは非常に巧妙に來るんだと云ふこと、それから此の宣傳に伴ふて必ず陰謀があるから注意をしなければならぬ。是は軍隊の力ばかりではどうにもならないことである。國民全體が知つてゐなくちやならぬ。其の當時私共英吉利の汽車に乗ると、窓の所に、日本で言ふと、「壁に耳あり」と云ふ意味の言葉が書いてある。汽車に乗るにも氣を付けると云ふ注意です。さう云ふ風に間諜が入り込んでゐるので何が何だか分らなくなる。殊に西洋では獨逸國籍の英吉利人もあり、英國籍の獨逸人もあると云ふ風で、彼我の人種が入り混つてゐるので、獨逸人らしいと思つて聞いて見ると、「いや私の父親は英吉利人です」と云ふやうなことになる。一向分らない。だから間諜はいくらでも入つて來られる。さうして各種の陰謀や宣傳を行つてゐる。

此の點に付て日本人は一寸も氣が付いてゐない。殊に歐洲大戰の試練を経てゐない爲に、宣

傳文などで色々言はれると、すぐに信じてしまふ。私は是は非常に情ないことだと思つてゐます。後で考へると、さう云ふことはなかつたのかと思ふ。何でも國民はすぐ信じてしまふ。此状態では歐洲戦争あたりで非常な經驗をした、鍛錬を積んだ外國から日本を見ると、赤坊の手を捻るやうなものです。向ふは五年間いぢめられてゐる。互に宣傳の巧妙なる研究をやつてゐる。併し遺憾ながら私共は此の點に關しては無經驗でありますから、國民諸君は此點に關しての研究と注意を願ひたいと思ひます。

經濟動員と云ふことは詳しく申上げれば際限がありませんので止めますが、さう云ふ風に先づ將來戦と云ふものを考へて見ますと、歐洲大戰に於て現はれた諸現象は非常に擴大されて現はれて來るものと思はれます。學術、宣傳、金、人、思想等々の問題にしても今申し上げたやうなことが大體歐洲大戰に現はれた形ですが、將來戦に於ては是がうんと大規模に動いて來ると思ひます。それでありませうからどうも日本人の頭には日清戦争、日露戦争しか入つてゐない。相當な學者、相當研究してゐる人も、先づもつて日露戦争を中心にして議論をやつてゐる。或は日清戦争を説いて得々としてゐる方もある。歐羅巴戦争の時の苦しみを國民は一寸も知らな

い。だから其怖しさも知らないであります。  
 軍部でも其の點を怖れて色々なものを書いたりして盛にそれを知らさうとして努めてゐます。けれども大抵の人はそれを讀まない。讀まないから依然として日清、日露當時の思想である人が案外多いのであります。併し今後の戦争を豫期してゐる陣ではありませんが、若しあつたとすれば、それは超歐洲戦争形です。是で来ることは斷言しても宜い。さう云ふ點に付ては此頃軍部でも相當に發表してゐる様ですが併し中には軍部の宣傳ぢやないかと思つてゐる人もあるだらうと思ひます。其點に付て大に國民諸君の御諒解を願ひたいと思つて居る所でありませす。  
 時間を節約しまして諸事を餘り簡単に申し上げましたので、御了解にならぬ處が多かつた事を謝しまして之で私の御話を了ります。

昭和十二年二月五日印刷  
 昭和十二年二月九日發行

不許復製  
 版權  
 所有

來るべき戦争の豫言 定價十錢 (送料二錢)

編輯者 兼 發行者 小山一郎  
 東京市中野區大和町三一六

印刷者 中橋昌吉  
 東京市小石川區戸崎町九六

發行所 東京市中野區大和町三一六  
 東京パンフレット社  
 (振替東京四九〇六九番)

特約店  
 鐵道各驛ホーム内スタンド一手販賣  
 (東京鐵道局公認)  
 東京市麹町區有樂町二ノ二 森田書房  
 大阪市北區堂島上二ノ廿五 新正堂書店  
 東京市京橋區銀座西二ノ一 啓徳社



